

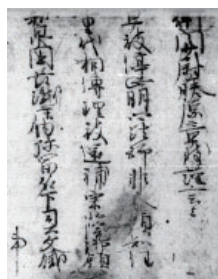
いずみさの昔と今 第352回

「長滝庄」

レイクアルスタープラザ・カワサキ歴史館いずみさのでは、冬季企画展「長滝庄」を開催しています。長滝庄は現在の泉佐野市長滝近辺にあった庄園です。当庄の始まりは、土地を開発した源永盛が、藤原彰子（988～1074）に寄進したことによるとされています。発掘調査の成果から、10世紀後半以降に開発が急速に展開し、11世紀代には農地開発が確認できることから、この頃開発されたことは確かかなようです。その後、彰子が建立した東北院の所領に組み込まれ、12世紀後半以降には殿下渡領と呼ばれる藤氏長者が代々経営する所領となります。

当地では永盛の流れを汲む者が、庄官として開発を続けたようです。具体的な年はわかりませんが、11～12世紀に永盛の子孫を下司職に任じる院庁下文が、建久3（1192）年には九条兼実から永盛の流れを汲む者に権利を保証する政所下文がそれぞれ発給されたようです。しかし、天福2（1234）年の九条道家による日根庄の立庄によって、こうした状況は変化します。立庄に際しては、用水の関係上、禅興寺や長滝庄といった近隣の協力が必要となります。そこで、道家は伊賀

レイクアルスタープラザ・カワサキ歴史館いずみさの
☎469-7140 Fax469-7141
休館日 月曜日、毎月最終木曜日（いずれも祝日の場合は開館し、その翌日が休館）
開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
入館料 無料



▲藤原章致申状（年月日不詳、国立歴史民俗博物館所蔵）

であつたため、北朝方であつた日根野氏の力は及ばなかつたと考えられます。室町時代には、藤氏長者管轄のもと、興福寺が関与していることが確認できます。しかし、戦国時代には泉南地域に根来衆が進出すると、長滝庄も興福寺が関与できない状態になっていたようです。天正13（1585）年、根来衆が羽柴秀吉に敗北したことにより、長滝庄は秀吉の影響下になります。文禄3（1594）年には長滝庄において検地が行われ、このときの検地帳が今に残っています。ここには「長滝庄」と記載されていますが、この後「長滝村」となり、江戸時代を迎えることとなります。

泉佐野 レトロ タイムスリップ

泉佐野市の昭和頃の懐かしい写真を紹介します。

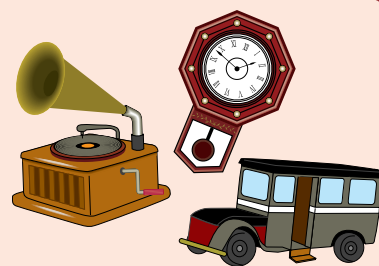
⑩旧市民病院



▲昭和40年に旧市民病院の正面入口側を撮影した空撮写真。拡張された土丸栄線（写真手前側の道）に面した本館が新たに増築されたため、正面入口が本館の西側から、増築された本館の東側（写真手前側）になった。



▲昭和30年当時の旧市民病院 旧正面入口側からの写真。旧正面入口は、左の空撮写真の奥側の道に面していた。市内出身の建築家であり郷土史家でもある池田谷久吉が設計を行った。



▲旧正面入口側を撮影した写真と同じ方向から撮影した現在の写真。旧市民病院は平成7年にりんくうタウンに移転し、現在の場所には商業施設が建っている。

泉佐野市の懐かしい写真は「泉佐野市デジタルアーカイブ (<https://adeac.jp/izumisano-city/top/>)」でも公開中！